

東伏見駅周辺地区まちづくり構想について

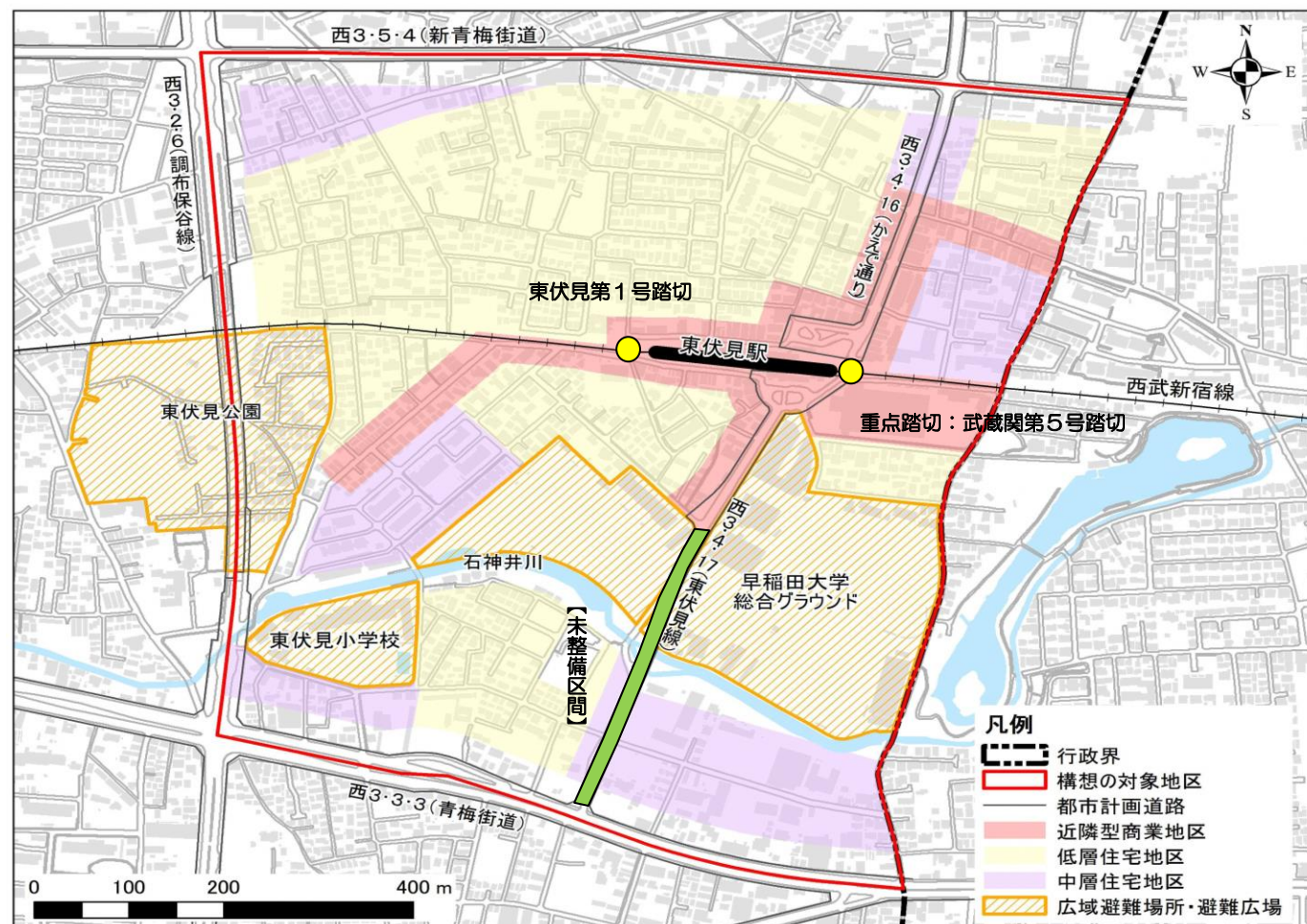
● 駅周辺まちづくり構想とは

- 地区の将来像を描き、その将来像を実現するため、地区が抱える課題に対するまちづくりの方針を定める。
- 構想策定後、具体的なまちづくりの手法を検討する際の指針となる。
(新たな権利制限が加わるものではない。)

● 東伏見まちづくり懇談会の目的

東伏見駅周辺をもっと住みやすく、いつまでも住み続けたいまちにするため、踏切が除却された後のまちの将来を考えた「東伏見駅周辺地区まちづくり構想」を策定するため、地域から委員を募り、策定に向けた意見交換を行う。

検討対象区域



● 今後のスケジュール

平成 29 年 3 月	第 1 回 懇談会	事業の説明
4 月	第 2 回 懇談会	参加者による意見交換、課題の整理
5 月	第 3 回 懇談会	参加者による意見交換、課題の整理
6 月	第 4 回 懇談会	連続立体交差事業済みの地区の見学
7～9 月	2 回の懇談会を予定	
10～12 月	1 回の懇談会、地区説明会（2 回程度）を予定	
平成 30 年 1～2 月	1 回の懇談会、パブリックコメントを予定 まちづくり構想の策定・公表	

● 東伏見駅周辺まちづくり懇談会での取り組み

- 第 2、3 回の懇談会において、5～6 名のグループ形式での意見交換を実施
第 2 回懇談会のテーマ：駅周辺、住宅地
第 3 回懇談会のテーマ：みどり・水辺・景観、交通
- 日頃感じている地域の課題を各自が出し合い、全員で情報を共有する。
- 地域の課題を分野ごとにまとめていく。
- 連続立体交差事業を実施した地区を見学し、さらに理解を深め、駅周辺の課題について、対応策を検討していく。
- 地域住民の意見を取り入れた「東伏見駅周辺地区まちづくり構想」の策定を目指す。

